

研究課題名

自動縫合器を用いた腓体尾部切除術における術後腓液瘻発生因子の検討

研究実施機関名および 研究責任者（所属科、職名等）

外科 部長 新村兼康

研究代表施設 および代表研究者

さいたま赤十字病院 外科 新村兼康

研究期間

2015 年 4 月 1 日-2025 年 3 月 31 日

研究の目的と意義

近年、自動縫合機を用いた腓切離が広く施行されているが、術後合併症の一つである腓液瘻の発生因子に関しては未だ明確な consensus は得られていない。そこで、腓体尾部切除術を施行した患者における腓液瘻の発生因子、特に Stapler cartridge の選択に関して、後ろ向きに解析・検証する。

研究内容

上記期間中に当院で腓体尾部切除術を施行されたすべての患者を対象とする。研究対象者基本情報として年齢、性別、共存症、既往歴、治療内容、受診日、転帰、入院中に診療情報として得た生理的情報、血液学的検査情報、画像情報を利用する。

対象患者様より取得した上記診療情報を用いる、介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究。

個人情報の取り扱い

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

問い合わせ先（拒否等の受付窓口）

【研究担当者】

所属：さいたま赤十字病院 外科

氏名：前田慎太郎

住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5

電話：048-852-1111